

プリンセス・クルーズ、ダイヤモンド・プリンセスへ  
最先端テクノロジー「オーシャン・メダリオン」を導入  
非接触型サービス拡充により安全対策を強化し、2021年7月1日より  
運航再開を目指す



[プリンセス・クルーズ](#)は、2021年7月1日から日本発着クルーズの運航再開を目指すことを発表しました。ダイヤモンド・プリンセスが運航する2021年日本発着クルーズは、2021年7月1日から10月16日出発の期間で、[全12コース](#)、[15出発日](#)を設定\*。さらに運航再開に合わせて、最先端のテクノロジー「[オーシャン・メダリオン](#)」を導入することにより、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策を強化し、お客様が安心して過ごせる船上体験をご提供します。

\* 現在のCOVID-19の状況を受け、船内の安全衛生規定をどのように強化するか、およびこの規定の強化がクルーズの運航にどのように影響するかを慎重に確認し実施していきます。また、今後の感染状況、寄港地の受け入れ状況、政府等からの要請、天候等による事情により、運航の遅延もしくは中止、航路・寄港地、船内サービス・イベントが変更もしくは中止となる場合がございます。

「オーシャン・メダリオン」はクルーズ業界における革新的なプログラムとして評価され、船内や寄港地での人との接触の機会を減らすと同時に、お客様と乗務員をモノのインターネット（IoT）でつなげます。船内のネットワークやセンサーを用いた位置情報の確認や、お客様のご要望に合わせた、きめ細かいサービス、インタラクティブ・エンターテイメントなど、「密集」を回避することで安心してクルーズをお楽しみいただけると同時に、より質の高いクルーズをご体験いただけます。

オーシャン・メダリオンの非接触型サービスの一例は、以下の通りです。

- [オーシャン・レディ \(OceanReady™\)](#) : ご乗船前に専用アプリをお客様ご自身でダウンロードいただき、健康質問票の入力やパスポート情報、船内でのご要望、船内会計などのお客様情報を事前に登録していただくことで、スムーズなチェックイン手続きを実現し、「密集」を回避します。また、チェックインの時間を事前に選択していただくことで、ご乗船時のソーシャルディスタンスの確保につながり

ます。

- 客室のスマートキー：お客様が客室に近づくと、ドアの鍵が自動的に解錠されます。
- オーシャン・ナウ (Ocean Now®)：各種デバイスや客室のテレビから専用アプリ「オーシャン・ナウ」にアクセスし、食事や飲み物、船内ショップの商品などを注文すると、船内のどこへでも直接お届けすることができるため、これまで以上にソーシャルディスタンスを確保しながら、クルーズをお楽しみいただくことができます。
- ジャーニー・ビュー (JourneyView™)：ジャーニー・ビューでは、船内に設置されたディスプレイやお客様の各種デバイス上にて、ご乗船中にお客様がご参加いただける全ての船内プログラムが時系列で確認できるほか、興味のあるイベントをブックマークし、自分専用の予定表を作成することができます。また、各施設の混雑状況のリアルタイムで確認できるため、「密集」を避け、より安心してクルーズをお楽しみいただけます。

プリンセス・クルーズ社長のジャン・スワーツは次のように述べています。

「このたび、日本発着クルーズの運航再開に合わせて、ダイヤモンド・プリンセスへのオーシャン・メダリオン導入を発表できることを大変うれしく思います。お客様が安心して過ごすためにデザインされたオーシャン・メダリオンは最先端の技術により、常に変化する状況に柔軟に対応することが可能となります。オーシャン・メダリオンにより、非接触型サービスを拡充するなど、今できることを常に考え続け、徹底した対策を実施して参ります。近い将来、船上で皆様にお会いできることを楽しみにしております」。

プリンセス・クルーズ社長 ジャン・スワーツ 日本の皆様へのメッセージ動画

<https://youtu.be/tylaFcIjmR4>

プリンセス・クルーズはお客様に安心してクルーズ旅行をお楽しみいただくために、運航再開時には定員の約半数に制限した上で、ソーシャルディスタンスの確保や3密回避などの対応はもちろん、プリンセス・クルーズ安全対策3原則：「残さない」「持ち込まない」「拡げない」を徹底した取り組みを行います。「プリンセス・クルーズ 安全対策3原則」の主な取り組みは以下の通りです。

#### 残さない

- 2020年3月、WHOやCDC、国立感染症研究所の指示のもとで策定され、厚生労働省が確認した大規模消毒作業を約150名の専門家とともに実施しました。
- 船内の備品（マットレスを含む寝具、タオル、カーテン、本、おもちゃなど）も、すべて新品に交換しました。
- 本船消毒作業完了および検疫解除の証明として、横浜検疫所より検疫済証の交付を受けました。

2020年3月、米国環境コンサルタント企業「CTEH」による監視および監査の下、実施したダイヤモンド・プリンセスの消毒作業については、下記動画をご覧ください。

<https://youtu.be/UZBp6F8Z6MY>

### 持ち込まない

- すべてのお客様の COVID-19 乗船前検査、非接触の体温測定、健康質問票の入力を徹底します。症状がある方には、乗船を許可する前に、追加の医療スクリーニングと検査を実施します。
- 乗務員も全員、COVID-19 の乗船前検査および毎日の健康チェックを徹底して実施します。

### 拡げない

- 客船の換気フィルターを MERV-13 レベルにアップグレードして換気システムを強化します。空気中の粒子の大部分を除去することにより、新鮮な空気を最大限に活用し、空気のろ過を強化します。
- 空気は、5～6 分ごとにパブリックスペースと客室全体で交換されます。
- 空気が循環されるエリアでは、紫外線 (UVC/UVGI) を照射することで空気中のウイルス等の物質を殺菌する次世代衛生システムを新規に採用します。
- 医務室は、陰圧管理され、HEPA フィルター (高性能エアフィルター) を導入します。また、隔離室も同じく陰圧管理の上、MERV-13 フィルターを採用し、さらに UVC 紫外線照射して空気を殺菌します。
- 船内には COVID-19 の対応に関する特別研修を受けた医療班が常駐します。
- COVID-19 の症状の緩和に効果の見込まれる薬を船内に常備します。
- 船内において COVID-19 の検査を受けることができます。
- 寄港地観光ツアーについては、COVID-19 をはじめとした状況に応じて各地の保健当局や政府関係者と連携し、訪問するすべての寄港地の健康規定に従い、実施します。

今後も厚生労働省や国土交通省だけではなく、米国疾病予防管理センター (CDC) などの公衆衛生当局や医療専門家と協力し、日々変化し続ける状況に適した、健康と安全の規定を随時更新および強化していきます。最新情報は、プリンセス・クルーズウェブサイト「安全にクルーズ旅行をお楽しみいただくために」ページをご確認ください。

「安全にクルーズ旅行をお楽しみいただくために」

<https://www.princesscruises.jp/cruise-with-confidence/keeping-you-safe-and-healthy/>

### 2021 年 6 月末までの日本発着クルーズ運航中止について

海外渡航制限が解除される時期が不透明なため、2021 年 6 月 25 日ご出発までの日本発着クルーズの運航が中止となります。対象クルーズをご予約されているお客様へは、お支払い済みのクルーズ代金の 100%に相当する額を返金可能なフューチャー・クルーズ・クレジット (FCC) \*として払い戻し、さらに、追加補償としてクルーズ代金の 25%に相当する FCC (返金不可) の特典を付与いたします。返金をご希望のお客様は、お申込みの旅行会社様を通じて申請が必要となります。なお、返金をご希望の場合は FCC の特典は含まれません。

\* フューチャー・クルーズ・クレジットとは、次回のクルーズのお支払いにご利用いただけるクレジットです。



### プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 15 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。カリブ海、アラスカ、パナマ運河、メキシカンリビエラ、ヨーロッパ、南米、オーストラリア/ニュージーランド、南太平洋、ハワイ、アジア、カナダ/ニューイングランド、南極、ワールドクルーズを含む世界 380 以上の目的地に年間 200 万人のお客様をお連れしている。各デスティネーションのエキスパートチームが手掛ける 3 泊から 111 泊の日程でバラエティ豊かな 170 以上のクルーズは、「ベストクルーズライン クルーズコース部門賞」を受賞。2017 年、親会社であるカーニバル・コーポレーションと共同で、バケーション業界で最も先進的なウェアラブル・デバイス「オーシャン・メダリオン」を利用したメダリオン・クラス・バケーションを導入し、メダリオン・クラスの客船にご乗船のお客様へ無料でご提供。受賞歴のあるこの革新的な技術により、お客様のクルーズライフをより快適にするきめ細やかなサービスの提供を実現。プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK) 傘下の会社。